

## 重点政策課題と主な事業

- (1) 持続可能で生産性が高い農業・農村の確立 予算額 (うち道費)
- 次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業費 818,000千円 (818,000千円)  
・持続可能な本道農業の確立のため、スマート農業技術の導入を容易とする大区画化など、農業者が必要な農業生産基盤の整備に積極的に取り組めるよう、道と市町村が連携し農家負担を軽減する。
  - スマート農業総合推進事業費 102,264千円 (4,729千円)  
・生産現場への着実なスマート農業技術の導入と全道への普及拡大を図るため、実証成果などの情報提供、専門知識を有する地域人材の育成、地域の営農体系に適した先端技術の導入を支援する。
  - 道産小麦需要拡大促進事業費 1,558千円 (1,558千円)  
・小麦商品の原料を道外・海外産小麦から、安全・安心で良質な道産小麦への置き換えることによる道産小麦の需要拡大を図る。
  - 麦・大豆生産技術向上事業費 4,000,727千円 (0千円)  
・産地と実需が連携して行う麦・大豆の国産化を推進するため、ブロックローテーションや営農技術の導入等による生産性向上や増産を支援する。
  - 多様な北海道米産地づくり事業費【新規】 12,531千円 (12,531千円)  
・加工向け新品種「そらきり」の普及や、酒米、米粉用米といった多様なニーズに対応した北海道米の生産拡大と需要拡大を図る。
  - 産地生産基盤パワーアップ事業費 3,516,493千円 (247千円)  
・水田・畑作・野菜・果樹等の産地の競争力強化のため、農業者等が行う高性能な機械・施設の導入や栽培体系の転換等に対して総合的に支援する。
  - 北海道肉用牛生産振興事業費【新規】 9,727千円 (9,727千円)  
・道産肉用牛の生産振興のため、高騰する飼料コスト削減が期待できる早期肥育の導入やブランド力向上に向けた取組を支援する。
  - 北海道和牛繁殖基盤造成事業費 2,013千円 (2,013千円)  
・北海道和牛のブランドの確立と競争力強化のため、ゲノミック評価を活用したトップエリート牛群づくりに対する取組を支援する。
  - 飼料生産基盤フル活用事業費【新規】 4,828千円 (4,828千円)  
・道内における飼料生産基盤のフル活用に向けて、稲WCS導入マニュアル作成など、耕畜連携や道産飼料の生産拡大の取組を推進する。
  - みどりの食料システム戦略推進総合対策事業費 633,667千円 (91千円)  
・みどりの食料システム戦略の実現のため、道の推進・指導体制を整備するとともに、有機農業の産地づくりやモデル的先進地区の取組を支援する。
  - 道産農産物等温室効果ガス削減加速化事業費【拡充】 5,062千円 (0千円)  
・ゼロカーボン北海道の実現に向けて、J-クレジット認証取得促進のためのモデル実証等を行う。
  - 持続可能な農を支えるクリーン農業促進事業費 2,561千円 (0千円)  
・クリーン農業の普及拡大を図るため、技術指導により安定生産を拡大するとともに、YES!clean表示制度の適切な運用や普及啓発に対して支援を行う。
  - オーガニック農業普及・販路拡大推進事業費 2,266千円 (218千円)  
・ゼロカーボン北海道の実現にも資する有機農業への新規参入・転換促進、販路開拓や理解醸成を推進し、道内外の市場拡大を図る。
  - 鳥獣被害防止総合対策事業費 2,687,588千円 (360千円)  
・野生鳥獣による農作物等の被害の防止・軽減を図るため、地域協議会等が主体となって取り組む計画的な捕獲・追い払い、農用地への侵入防止柵の整備など、総合的な鳥獣被害対策を支援する。

## (2) 国内外の需要を取り込む農業・農村の確立

- **ごはん食拡大推進事業費** 2,603千円 (2,603千円)
  - ・本道の水稲生産力を強化していくため、家庭用を中心とした主食用米の需要確保の取組を推進し、北海道米の消費拡大と高い水準での道内食率の維持を図る。
- **新顔冬野菜推進事業費【新規】** 7,069千円 (3,535千円)
  - ・ちぢみほうれんそうや伏せ込みアスパラガスなどを「新顔冬野菜」としてPRするため、先進事例調査や産地事例集作成、道内外での催事・フェアに取り組む。
- **道産農畜産物輸出拡大強化事業費【新規】** 42,525千円 (27,536千円)
  - ・道産農畜産物の輸出拡大に向け、産地の機運醸成・育成に取り組むとともに、商流の拡大、有望市場の開拓のための取組を行う。
- **6次産業化ネットワーク活動事業費** 132,432千円 (462千円)
  - ・農林漁業者等が行う、多様な地域資源を活用した付加価値を創出する取組を推進するため、相談対応や人材育成、商品開発や施設等整備の支援を行う。

## (3) 多様な人材が活躍する農業・農村の確立

- **地域農業と企業との連携強化サポート事業費** 1,962千円 (1,412千円)
  - ・企業の農業参入と定着に向け、相談体制・掘り起こしの強化を図るほか、参入事例の周知に取り組む。
- **担い手育成総合推進事業費** 1,808,534千円 (117,760千円)
  - ・次代の本道農業を担う多様な担い手の育成・確保を図るため、後継者はもとより、新規参入者など意欲と能力のある新規就農者の確保などの総合的な対策を実施する。
- **農村・求職者良質雇用マッチングアシスト推進事業** 16,641千円 (3,329千円)
  - ・農業における雇用人材の確保と定着を図るため、良質な雇用環境整備に向けた意識啓発や求職者・雇用先とのマッチング、重点地域の活動を支援をする。
- **農業次世代人材投資事業費** 1,734,791千円 (108,918千円)
  - ・就農に向けた研修資金の交付、就農直後の経営確立に資する資金の交付や機械・施設等導入への支援、農業研修や就農相談の充実への支援をする。
- **多様な雇用人材受入推進事業費** 1,746千円 (1,030千円)
  - ・多様な人材の農業現場での活躍に向けて、外国人材受入れに関する制度や労働者の雇用関係法令等に関する農業者側の理解向上を図り、働きやすい環境づくりを推進する。
- **農福連携推進事業費** 5,583千円 (610千円)
  - ・農業の担い手を支える人材の確保と農業経営の成長につながる農福連携を推進するため、相談窓口を運営するとともに、現場で求められる高度な専門人材を育成し、農業現場への派遣を行う。

## (4) 道民の理解に支えられる農業・農村の確立

- **どさんこ食育推進事業費【新規】** 20,141千円 (3,793千円)
  - ・第5次北海道食育推進計画に基づき、地域のネットワークを強化し、道民運動として食育を推進するとともに、「どさんこ愛食食べきり運動」を全道的に展開し、食品ロスの削減に取り組む。
- **未来を創る北海道フードアンドアグリ発信事業費【拡充】** 20,911千円 (20,911千円)
  - ・食料安全保障に貢献する本道農業の役割等について、道民理解促進を図るための取組支援や、未来を担うZ世代と連携した情報発信に取り組む。
- **農村ツーリズム再生事業費** 3,289千円 (2,133千円)
  - ・農村ツーリズムの受入体制強化のため、意欲向上を図る研修会開催などの取組を推進する。

## (5) ホッカイドウ競馬の推進

- **北海道地方競馬特別会計** 49,127,457千円 (0千円)
  - ・「第3期北海道競馬推進プラン」に基づき、老朽化した競馬場基幹施設の計画的な整備に向け厩舎エリアの工事に着手するほか、さらなる顧客の拡大に向け、引き続き強い馬づくりと魅力ある番組づくりを進めるとともに、積極的な情報発信を通じ、安定した競馬事業の運営に取り組む。